

## 第1回 学校運営協議会

1 日時 2022年（令和4年）5月16日（月）14:00～15:00

2 場所 図書室

3 参加者

古山 貴規	PTA 会長
堤 祐弥	法宣寺・図書ボランティア
羽田 知世	さくらホーム
平岩 千尋 (オンライン)	学校医
上野 リサ	穴吹情報デザイン専門学校講師
橋本 貞夫	学校関係者評価委員
宮本 和香	学校関係者評価委員
細田 暁 (オンライン)	横浜国立大学教授
宇根 一成	鞆の浦学園 校長

4 内容

- ① 任命通知書交付
- ② 学校説明
- ③ 質疑・応答, 意見交換

◆会の目的

- 「コミュニティスクールになること」ではなく、「子ども達の学びをよりよくする」「よりよい成長につなげる」
- 年3回の型にはまった会にするのではなく、いろいろな機会に子ども達の姿を見てもらって課題を共有し、解決のアイデアを出し合う会にする。
- いろいろな立場で意見を伝え合うことが大切。
- 図書ボランティアによる読み聞かせが月曜日になったのは、週の始めに落ち着いてスタートが切れるようにするため。子ども達の実態や課題から変更した。課題を伝えてもらい、何ができるか考えたい。
- しっかりコミュニケーションをとる中で必要なことを考えていく。
- 町の中のうわさ→伝わるのは学校が最後。
- トラブルの後ろにたくさんの立場の思いがあるはず。感度を高く！気づき力を高める。
- 本音で伝え合い、信頼関係をきずいていく。

◆子ども達に必要なこと

- 子ども達にとって自分の親以外の大人と関わることも大切。現実を伝えていくことも大切。
- いろいろなことに出合わせ、きっかけをつくる。
  - 夢がもてる
  - 判断する場を増やす
  - お互いの成長に気付けるようにする

◆子ども達のタブレット使用について

- 実態として、ゲームに時間をとられすぎている。タブレットは使うものであり、使われるようになってはならない。ゲームに使う時間、もっと本を読むようにしたい。
- 子ども達はセキュリティをかいくぐる天才。止めることはできない。
- 無免許で運転しているのと同じ。
- 使い方を教えていかなければならない。IT の良さと負の部分の両方を学び、自分で判断していく力を付けなければならない。
- 医療的観点とIT の専門性を活かして、子ども達に学びの場をつくる。

◆トンネル工事に関わって

- 6月10日 出前授業実施
- 土木工学が専門であるので「防災」の観点で関われることが楽しみである。

④ 事務連絡